

令和 8 年度 1 0 月定例記者会見 次第

日時：10 月 26 日（月）13 時 30 分

会場：糸島市役所 庁議室

【出席者】

〔伊都国記者会〕朝日新聞社、糸島新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、
読売新聞社、NHK 福岡放送局、時事通信社
〔糸島市〕市長、副市長、教育長、関係課（下記参照）

1 市長あいさつ

2 案件

- | | |
|---|-------------------|
| ①糸島産食材の地産地消を推進するための「レシピ
コンテスト」と「マルシェ」の開催について | 【市長発表】
ブランド政策課 |
| ②「WEB で挑戦！糸島をもっと知る『糸島検定』」に
ついて | 【教育長発表】
学校教育課 |
| ③糸島市文化財周遊スタンプラリーの実施について | 文化課 |

3 懇談・その他

■次回定例記者会見の開催日時（予定）

日時：11 月 24 日（火）13 時 30 分～

場所：糸島市役所 庁議室

糸島産食材の地産地消を推進するため、 「レシピコンテスト」と「マルシェ」を開催！

「わが家の自慢！糸島レシピコンテスト～市民みんなで育てる地産地消～」

市民の皆さまに糸島産食材の魅力を改めて知っていただき、日々の暮らしの中で地産地消をより身近に感じていただくことを目的として、「わが家の自慢！糸島レシピコンテスト ～市民みんなで育てる地産地消～」を開催します。

家族に「また作って！」と言われる料理や、いつもの食卓で親しまれている「わが家の味」を募集します。糸島産食材の魅力が詰まった、皆さんの自慢の一品をぜひご応募ください。



【開催概要】

募集テーマ：わが家の自慢！糸島ごはん

応募条件：糸島産食材を1品以上使用しており、応募者本人が考案したレシピ
糸島市内在住（小学5年生以上）の方
最終審査に参加し、会場での調理及びプレゼンテーションを行える方
レシピの掲載や名前もしくはニックネーム等の掲載にご了承いただける方

応募期間：令和8年11月30日（月）まで（10月1日より募集を開始しています）

表彰：最優秀賞・優秀賞・入賞・市民賞

応募方法：WEB（応募フォーム）、郵送、持参、メール

【最終審査・表彰式】

日時：令和9年1月17日（日）

場所：糸島市役所市民ホール

最終審査は市民ホールで実施し、審査員が試食・審査を行います。また、最終審査に進んだレシピの中から、市民の皆さまが「作ってみたい」と思うレシピに投票していただき「市民賞」を決定。投票いただいた方を対象に、糸島産品が当たる抽選会も開催します。そのほかにも、自慢の料理をメッセージボードに書き込むコーナーや糸島食材クイズなども実施予定です。最終審査・表彰式へもぜひお越しください。

【詳細はこちら「わが家の自慢！糸島レシピコンテスト専用WEBサイト」】

<https://itoshimagokoro.net/recipecomp/>



地産地消マルシェ「EAT LOCAL ITO」

本市における地産地消の推進を図るため、市民の皆さまに生産者を身近に感じていただき、地元の農林水産物の魅力を実感していただくことで、市民の消費拡大と市内経済の循環を活性化させることを目的として、地産地消マルシェを開催します。

【開催概要】

イベント名称：EAT LOCAL ITO

開催日程：【第1回】令和8年11月22日（日）10：00～15：00

【第2回】令和9年1月17日（日）開催予定

【第3回】令和9年2月21日（日）開催予定

開催場所：丸田池公園（糸島市前原西一丁目317-1）

出店規模：各回15事業者程度



主な出店内容：【農林水産物】糸島産の新鮮な野菜、果物、米、魚介類、畜産物等

【加工食品・食品販売】糸島産食材を使用したパン、菓子、調味料、飲料等

【飲食提供】糸島産食材を使用した料理、軽食、ドリンク等

会場には、糸島の豊かな自然が育んだ新鮮な農林水産物やこだわりの加工食品などが並びます。お買い物を通じて、普段はなかなか聞けないつくり手の想いや食材の背景に触れ、生産者との温かい交流を楽しんでいただけるイベントです。

【詳細はこちら「地産地消マルシェ「EAT LOCAL ITO」専用WEBサイト」】

<http://eat-local-ito.com/>



【問い合わせ先】

経済振興部 ブランド政策課

①レシピコンテスト：担当 梶山

②マルシェ：担当 山下

TEL：直通：092-332-2080

メール：brand@city.itoshima.lg.jp

あなたの「わが家の味」大募集！



最優秀賞 1名

2万円相当の糸島産品



優秀賞 2名

1万円相当の糸島産品



入賞 2名

5千円相当の糸島産品



市民賞 1名

糸島産米10kg

家族に「また作って!」と言われる料理や、
いつもの食卓で親しまれている
「わが家の味」を募集します。
糸島産食材の魅力が詰まった、
皆さんの自慢の一品をぜひご応募ください。

2027年
1月17日(日)

申込
不要

会場 糸島市役所
市民ホール

テーマ

わが家の自慢! 糸島ごはん

応募
条件

- ・糸島産食材を1品以上使用しており、応募者本人が考案したレシピ
- ・糸島市内在住(小学5年生以上)の方
- ・最終審査【2027年1月17日(日)予定】に参加し、
会場で調理及びプレゼンテーションを行える方
- ・レシピの掲載や、名前もしくはニックネームの掲載にご了承いただける方

糸島レシピコンテスト
専用WEBサイト
QRコード



応募
方法

WEB(応募フォーム)から必要事項を入力し応募いただくか
応募用紙に記入いただき、事務局へ郵送またはご持参ください。

詳しくはホームページをご覧ください <https://itoshimagokoro.net/recipecomp/>

表彰
(予定)

最優秀賞 …… 1名

入賞 …… 2名

優秀賞 …… 2名

市民賞 …… 1名

※最終審査進出者には、会場において応募レシピの調理、プレゼンテーション及び表彰式への参加をお願いする予定です。
※一次審査を通過したレシピは、市が発行するレシピ冊子へ掲載するほか、市ホームページやSNSなどでも紹介します。レシ
ピ冊子等には、レシピ考案者のお名前もしくはニックネームが掲載される予定です。

**最終審査・表彰式 当日は
「市民審査員」として参加しよう!**

レシピに投票してプレゼントをGET!

- ①最終審査に進んだレシピの中から、「作ってみたい!」と思うレシピに投票!
- ②投票いただいた方を対象に、糸島産品などが当たる抽選会を開催!

**他にも皆さんにも楽しんでいただけるイベントを開催!
ご家族やお友達とぜひお越しください!**

わが家の自慢料理コーナー

会場のメッセージボードに自慢の料理を書き込んでシェアしましょう!
あなたの料理が誰かのヒントに!

楽しく学ぼう! 糸島食材クイズ

親子で楽しめるクイズに挑戦! 糸島の食材について楽しく学びましょう。

つくる人も、
料理する人も、
食べる人も。
糸島でつながる。



EAT LOCAL ITO

ITOSHIMA FOODPARK

〈第1回〉

2026 **11.22** SUN
10:00~15:00

会場 **丸田池公園**

(糸島市前原西一丁目317-1)

入場
無料

※会場に専用駐車場はございません。ご来場の際は公共交通機関のご利用、もしくは周辺のコインパーキングをご利用ください。

出店内容：農林水産物／加工食品・食品販売／飲食提供／食育・ワークショップ（計15事業者程度）



FARM
畑のもの



SEA
海のもの



CRAFT
つくるもの



EAT
食べるもの

糸島の食を知り、
食べ、日常へ持ち帰る場所。

第1回

2026年11月22日(日)
10:00~15:00

第2回

2027年1月17日(日)
開催予定

第3回

2027年2月21日(日)
開催予定

雨天時について

雨天・荒天時は延期または中止の場合あり。最新情報は公式サイト・公式SNSをご確認ください。
予備日：12月6日(日)

主催 / 糸島市ブランド政策課 運営事務局 / いとしまちカンパニー合同会社 (EAT LOCAL ITO 運営事務局)
お問い合わせ / 092-985-5701 (カラクリワークス株式会社) 担当：狩谷

公式サイト



@公式Instagram



f 公式Facebook



【案件2】定例記者会見資料

令和8年10月26日

子ども教育部学校教育課

「WEBで挑戦！糸島をもっと知る『糸島検定』」

～今年度は市内の児童生徒も学校のタブレットで挑戦～

糸島市では、「教育の日」の取り組みの一つとして、糸島について楽しみながら学び、ふるさとへの関心や愛着を深めるため、11月1日から30日まで「糸島検定」をWEBで実施します。

今年度から、子どもたちも各学校でタブレットを使って挑戦します。これにより、昨年度まで部活動などで参加できなかった児童生徒も参加できるようになりました。また、家庭や地域からもスマートフォン、タブレット、パソコン等で参加でき、学校での学びを家庭や地域へ広げます。

■実施概要

実施期間 令和8年11月1日（日）～11月30日（月）

参加方法 二次元コードからアクセス

参加対象 子供から大人まで、どなたでも参加できます。



■学校での学びを家庭や地域へ

子供たちが学校で取り組んだ検定をきっかけに、

家族や地域の方と糸島について話し合い、世代を超えて糸島の魅力を再発見することを目指します。

■認定証を持って伊都国歴史博物館へ

検定の最後に表示される認定証（マイスター）を伊都国歴史博物館又は志摩歴史資料館で提示すると、令和9年3月31日まで、入館料が無料になります。また、令和8年11月1日から29日まで開催される特別展の観覧料も、認定証を提示した方のうち先着30名は無料になります。WEBでの学びを、博物館や歴史資料館での実際の体験につなげます。

学校のタブレットで挑戦 ▶ 家庭や地域でも参加 ▶ 博物館で学びを深める



【問い合わせ先】

糸島市 子ども教育部学校教育課

教育指導係 担当：重松

電話番号：332-2097

メール：gakkokyoiku@city.itoshima.lg.jp

令和8年度 教育の日の取組について

— 「いとしま学びの探究マルシェ」～地域とつながる学びの1日～ —

1 趣旨

糸島市では、毎年11月1日を「教育の日」と定め、概ね前後1週間を重点期間として、学校・家庭・地域で教育の重要性を再認識し、市民が教育について考え、未来の糸島を担う子どもたちへの教育を振興する取組を推進している。

2 目的

- 市民が糸島市の教育に対し誇りを感じることができるよう、現在、糸島市が行っている教育施策や地域連携を通じた糸島市の教育を、小中学生の姿を通じて学校関係者及び一般市民へ情報発信する。
- 家庭・地域・学校がともに教育について考え、学び合う機会とするとともに、子どもたちが地域とつながりながら学ぶよろこびを実感できる場とする。

【令和8年度の重点】 子ども主体の学び／探究的な学び／地域との連携

3 「教育の日」イベント

(1) コンセプト 「いとしま学びの探究マルシェ」～地域とつながる学びの1日～

期 日	令和8年11月16日(月)
会 場	糸島市役所 市民ホール
対 象	小中学生・保護者・市民
実施形態	ブース型・参加型・交流型イベント
運営の基本	子ども主体の運営



(2) 参加校

- ・ 小学校4校…波多江小・怡土小・桜野小・姫島小
- ・ 中学校3校…前原中・前原西中・二丈中

(3) 発表・交流内容

総合的な学習の時間、起業家教育、地域課題解決学習等、各校の特色ある学びを題材とする。

4 当日スケジュール

時 間	内 容
13:00	集合・準備
13:30	開会
13:40 ～ 14:00	小学校 前半グループ発表
14:00 ～ 14:20	小学校 後半グループ発表
14:20 ～ 14:30	休憩・中学校準備
14:30 ～ 15:15	中学校 発表(1校ずつ順に発表)
15:15 ～ 15:40	座談会(フィードバック・学びの共有)
15:40	閉会・記念写真撮影
16:00	片付け

糸島市文化財周遊スタンプラリー

「^{さ や}沙夜と^{し しん}四神の守り人たち～伊都国の宝を集めよ～」を開催します

11月24日から、市内に点在する貴重な文化財・史跡を巡るデジタルスタンプラリー「沙夜と四神の守り人たち～伊都国の宝を集めよ～」を実施します。

本企画は、弥生時代の伊都国を中心とした市内6つの史跡・資料館を巡りながら、スマートフォンのGPS機能を活用してデジタルスタンプを集めるもので、オリジナルキャラクター「沙夜」と四神（玄武・朱雀・青龍・白虎）が各史跡の歴史的背景をわかりやすく解説するストーリー仕立てとなっています。

比較的シニア層にファンが多い本市の文化財ですが、このデジタルスタンプラリーをきっかけに、特に若い世代が、本市の史跡の魅力を楽しく学びながら地域の文化財への理解と関心を深めていただければと考えています。※キャラクターについては、P5参照



1. 概要

項目	内容
名称	糸島市文化財周遊スタンプラリー 「沙夜と四神の守り人たち～伊都国の宝を集めよ～」
期間	令和8年11月24日（火）～令和9年3月31日（金） ＊継続の可能性あり
参加費	無料（通信費・移動費は参加者負担）
対象スポット	市内6か所（下記参照）
参加条件	スマートフォンまたはタブレット（アプリダウンロード不要） ※通信機能が必要。位置情報をONにすることが必要。
事業費	1,062千円（システム開発費：330千円、景品製作費：732千円）

2. 巡るスポット（6か所） ※P3,4参照

- ① 新町支石墓群（新町展示館）（糸島市志摩新町71番地）
- ② 志摩歴史資料館（糸島市志摩初1丁目2-1）
- ③ 志登支石墓群（糸島市志登586番地ほか）
- ④ 平原遺跡（平原歴史公園）（糸島市有田1番ほか）

⑤ 三雲南小路遺跡（糸島市三雲 453 番地 2 ほか）

⑥ 伊都国歴史博物館（福岡県糸島市井原 916）

※各施設の開館時間・休館日・観覧料等の詳細は別紙のとおり。

3. スタンプラリーの特徴

- ・各スポットを訪れると GPS が反応し、デジタルスタンプとガチャ券 5 枚を獲得
- ・ガチャ券 1 枚でオリジナルの「デジタル遺物カード（全 20 種）」1 枚がもらえる
※カードのデザインについては、P6-9 を参照
- ・6 スポットすべてを制覇すると、「超大型内行花文鏡カード（SSR：スーパースペシャルレア）」の実物と、四神デザインの特製パスケースを先着 250 名にプレゼント
- ・デジタル遺物カードを 20 種類すべて集めると、「四神＋沙夜」が描かれた特製デジタル壁紙をプレゼント
- ・糸島高校生で、平原遺跡の巫女の末裔である「沙夜」と四神（玄武・朱雀・青龍・白虎）によるストーリー仕立てのコンテンツで、史跡の歴史的価値を楽しく紹介

4. 参加方法

1. 配布の QR コードまたは URL を読み込む（ユーザー名の入力のみ、アプリダウンロード不要）
2. スマートフォンの位置情報を ON にし、各スポットを巡ってデジタルスタンプとデジタル遺物カードを収集
3. デジタルスタンプを 6 個集めたら、伊都国歴史博物館窓口にて景品と交換



5. 注意事項

- ・景品は先着 250 名限定です。なくなり次第終了となりますが、景品終了後もデジタルスタンプ、デジタル遺物カード、デジタル壁紙は受け取れます。
- ・施設の開館時間内、または明るい時間帯に訪問し、交通ルール・マナーを守ってご参加ください。
- ・景品の譲渡・換金・転売は禁止します。

【別紙】

- ・ P3-4 各スポット詳細（住所・開館時間・休館日・観覧料・駐車場情報）
- ・ P5 登場キャラクター紹介（沙夜・ゲンブ・スザク・セイリユウ・ビャッコ）
- ・ P6-9 景品イメージ（デジタル遺物カード、超大型内行花文鏡カード、パスケースデザイン）

【問い合わせ先】

糸島市 地域振興部文化課
文化財係 担当：江崎靖隆
電話番号：332-2093（課直通）
メール：bunka@city.itoshima.lg.jp



① 新町支石墓群（新町展示館）

所在地：糸島市志摩新町 71 番地

開館時間：9 時～16 時

休館日 毎週月曜日、年末年始

ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館

観覧料：無料

駐車場：15 台



② 志摩歴史資料館

所在地：糸島市志摩初 1 丁目 2-1

開館時間：10 時から 17 時

（入館は 16 時 30 分まで）

休館日：毎週月曜日、年末年始

ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、
次の平日が休館

観覧料：大人 220 円（団体 110 円）、
高校生 110 円（団体 50 円）

***スタンプ取得だけの場合、観覧料はかかりません**

駐車場：5 台



③ 志登支石墓群

所在地：糸島市志登 586 番地ほか

駐車場：志登公民館（糸島市志登 352）
5 台程度





④ 平原遺跡（平原歴史公園）

所在地：糸島市有田 1 番ほか

開園時間：9 時～17 時

駐車場：20 台



⑤ 三雲南小路遺跡

所在地：糸島市三雲 453 番地 3 ほか

駐車場：三雲公民館（糸島市三雲 529）10 台

利用時間：9 時～17 時



⑥ 伊都国歴史博物館

所在地：福岡県糸島市井原 916 番地

開館時間：9 時から 17 時

（入館は 16 時 30 分まで）

休館日：毎週月曜日、年末年始

ただし、月曜日が祝日の場合は開館し、
次の平日が休館

入館料：大人 220 円（110 円）、
高校生 110 円（50 円）

*スタンプ取得や景品交換だけの場合、入館料
はかかりません

駐車場：50 台

スタンプラリー登場キャラクター



スタンプラリー登場キャラクター (ミニ)





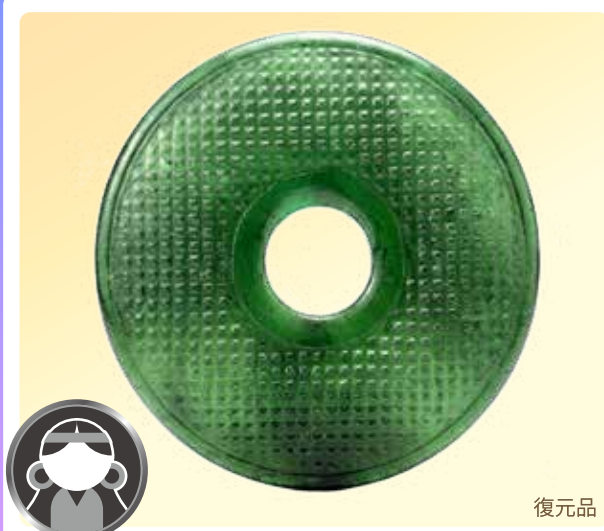
ちょうおおがたないこうかもんきょう
超大型内行花文鏡



弥生時代では国内最大の内行花文鏡。
鏡を踏み返して造られた同型鏡が5枚あり、
この鏡を「八咫鏡」とする説もある。

平原遺跡

がらすへき
ガラス壁



復元品

漢の皇帝が、臣下や周辺諸国王に下賜した品とされる。
直径 12 cm と 8.5 cm の大小 2 種類あり、倭人に対する
破格の待遇を示すものと考えられている。

三雲南小路遺跡

そかんとうち
素環頭大刀



平原遺跡から出土した素環頭大刀。
持ち手部分は、茎の先端を加工して環を
つくる「共づくり」の技法で作られている。

平原遺跡

がらすまがたま
ガラス勾玉



淡い青色と形態が美しい勾玉。頭部に 4 条の刻線が
施された「丁子頭」である。
弥生時代のガラス勾玉では珍しい両側穿孔で、
鋳造と考えられている。

平原遺跡

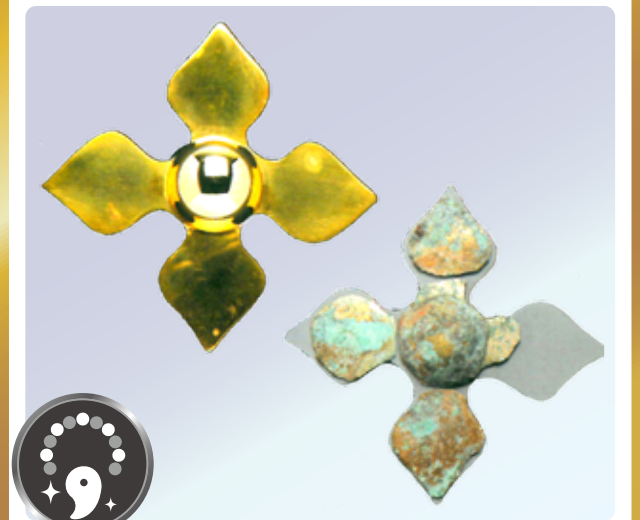
れんこもんにっこうきょう
連弧文日光鏡



三雲南小路 2 号甕棺から出土した前漢鏡。
「見日之光、天下大明」の銘文から日光鏡と呼ばれる。
2 号甕棺から出土した鏡は背面に赤色顔料が塗布され
るものが多いのが特徴で、この鏡にも赤色顔料が
塗布されている。

三雲南小路遺跡

こんどうせいしようざかざりかなぐ
金銅製四葉座飾金具



球形の座に四葉が付く形で、表面が鍍金されている。
本来、木棺を飾る葬具であるが、本来の目的を外れ、
宝物の装身具として使用したのと考えられている。

三雲南小路遺跡

しせきぼ
支石墓

R



支石墓（しせきぼ）とは、大きな蓋石を複数の支石で支えた墓制のこと。大陸に起源を持ち、日本では主に北部九州の弥生時代早期～前期に多く見られる。

新町支石墓群

らくろうけいどき
楽浪系土器

R



中国の出先機関である楽浪郡で作られた土器。粘土紐を積み上げたのち瓦質に焼き上げる特徴を持つ。楽浪漢人との交流・交易を示している。

深江伊牟田遺跡ほか

かせん
貨泉

R



新～後漢時代（1世紀）に使用された中国銭。糸島では、海岸沿いの拠点集落から出土することが多く、中国大陸との頻繁な交易を示している。

御床松原遺跡ほか

もっこう
木甲

R



木製の鎧で、カキノキ材から削り出し（一木造り）で造られている。前胴2枚、後胴1枚で1セットとなり、背面には羽根が付く。鳥装の首長が、お祭りを執り行う姿が想定され、当時の祭祀を考える上で重要な資料である。

深江石町遺跡

あん
案

R



深江城崎遺跡2次から出土した完形の案。板材から部品を造り出し、その部品を組み合わせて作る「指物技術」を使用し、天板上には刃物痕があるため、まな板とする説がある。

深江石町遺跡

りゅうようけいませいせきぞく
柳葉形磨製石鏃

R



柳の葉のような形状をした、表面を丁寧に磨いて仕上げた石製の鏃（やじり）。朝鮮半島から伝来し、狩猟や戦闘用途にも使われたと考えられる。

志登支石墓群

こつぽ
小壺



支石墓に副葬された小型の壺。
新町遺跡西側の支石墓には弥生早期のもの、東側には
弥生前期のものが納められていた。

新町支石墓群

ぼうすいしゃ
紡錘車



糸をつむぐための道具。中央の穴に軸となる棒を
差し込み回転させることで繊維を撚り合わせて糸を
紡いでいく。弥生時代には石製のものと土製のものが
あり、三雲井原遺跡では朝鮮半島との関係が深い
瓦質紡錘車も出土している。

いしぼうちょう
石包丁



稲を収穫する際に使用する農具。二つの穴に紐を通して
手首に固定して稲を刈り取っていく。
伊都国の中心である三雲井原遺跡では立岩産の石材と
在地の石材の両方が使用されていた。

やよいどき
弥生土器



弥生時代に使用された土器。従来の縄文土器から製作
技法や器種構成が大きく変化し、壺や甕・高杯など
新たな器種が加わった。
表面を赤く塗る丹塗り磨研土器は主に祭祀に利用され
たと考えられている。

きゅうしゅうがたせきすい
九州型石錘



玄界灘沿岸を中心に分布する石製のおもり。
漁労具の一種で、滑石で作られることが多い。
先端が尖り底部が水平に切られているものは、
糸島地方に多く出土するため「糸島型」と呼ばれている。

いまやまさんせきふ
今山産石斧



糸島半島東部の石斧製作所跡「今山遺跡」で作られた
石斧。粗割→打裂→敲打→研磨の順番で製作される。
今山産の石斧は北部九州を中心に、熊本県や長崎県まで
広がっている。

ちゅうそうてつぷ
铸造鉄斧



鋳型に鉄を流し込んで作る鉄製の斧。楽浪郡の設置を
契機に大陸からもたらされた品々の一つ。
破損後に別のものへと再加工される場合もある。

もくせいのうぐ
木製農具 (鋤・鍬)



木製の農具。機能によって形態に細かな違いがある。
特に幅の広い平鍬は糸島地域で多く見つかっており、
「糸島型」と称される。

使用フォント



●—— 遺物の名前 / ルビ Noto Sans JP Medium

●—— 解説文 / 遺跡の名前 Noto Sans JP DemiLight

アイコン一覧



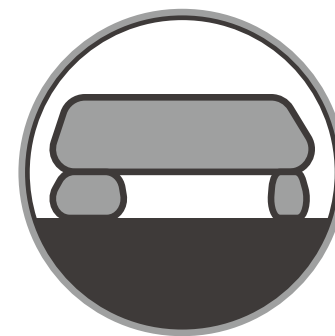
威信財



武器



装飾品



墓



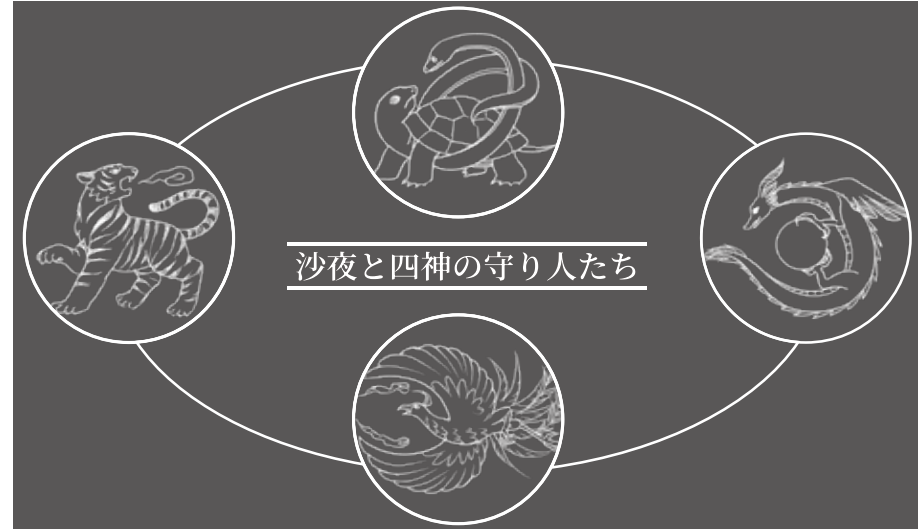
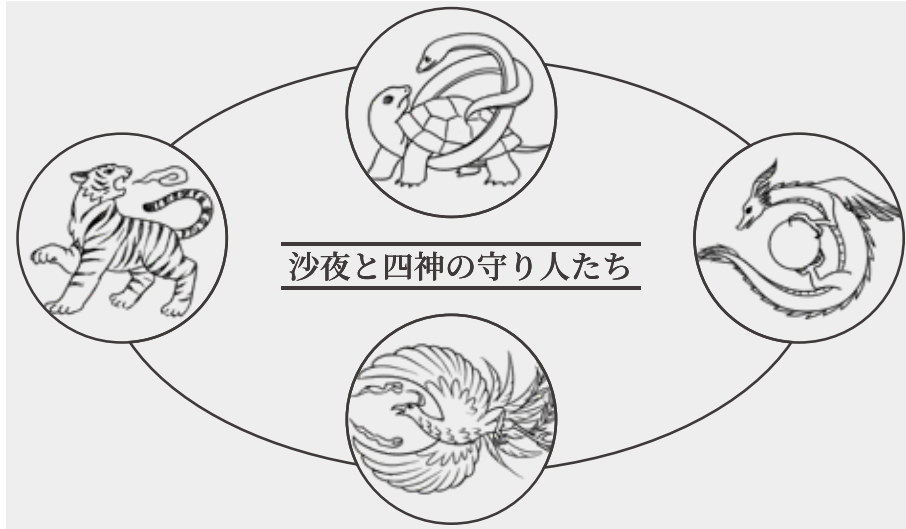
交易



生活

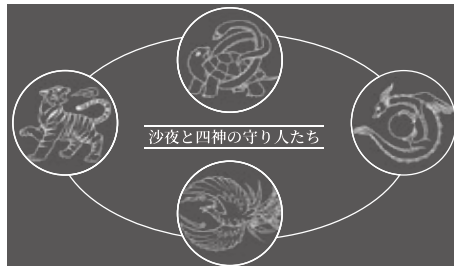
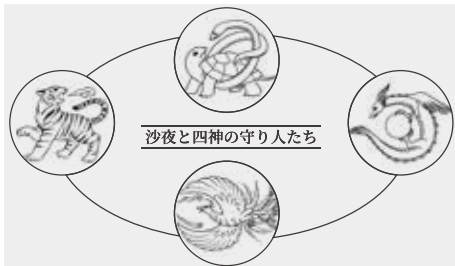
パスケース裏面デザイン

パスケースの裏面には今回のメインキャラクターでもある四神たちを使用する。



パスケースの色によっては線画の色を変える必要あり

実際のサイズ (35 mm × 60 mm)



※画像はイメージです